

社 内 ニ ュ ー ス TOPICS

ディスク型を開発—

中水道システム向け限外濾過装置

Disc type rotating ultrafilter for wastewater recycling system

神鋼パンテック（神戸市中央区脇浜1-4-78, 川口正社長, 電話078-232-8081）は、ディスクタイプの限外濾過装置を開発した。同装置は中水道システム用に開発したもので、活性汚泥処理装置と組合わせて排水の再利用化を図る。クロスフロータイプで効率良く循環濾過し、特長は膜面を洗浄ブラシでフラッシングする機構を採用したこと。すでに、中水道向けに受注するとともに、産業排水高度処理プロセスに受注内定を決めている。同社ではUF膜分離による排水処理システムで、既存のチューブラタイプと今回のディスクタイプを加えてシリーズの充実を行った。今後、中水道システムを中心に産業排水処理、生産プロセス分野へ売り込みを本格化させる。

同システムは「UFくるくる」（商品名）で、概要はUF膜を貼りつけた円盤をシャフトに固定、容器に入れる。原水を容器に注入、ディスクを回転させながら処理水をシャフト内を経て固液分離する。圧力は最大で4 kg/cm²とし、膜材はポリアクリルニトリル製で、洗浄ブラシで直接表面の懸濁固形物をフラッシングする。同システムを導入することから沈殿池ガスが不要となり、大幅な省スペースを実現できる。

同システムは都内ビルでの中水道システムの受注（日量150トン）を決めたほか、金属表面処理プロセス向け産業排水処理用途で受注内定している。同社では日量50トン、100トンの2機種を標準化し初年度数セットの受注を目指す。

一方、すでに技術確立をしているチューブラタイプのUF膜システムで、嫌気処理装置「ABCシステム」と組合わせた産業排水処理施設を手掛けている。中部地区の天然繊維加工メーカー向けに納入したもので、繊維質の高いBOD廃液を生物処理する。約3億円の受注金額で、来月引き渡しを完了する。同社では相次ぎUF膜システムを手掛けており、効率的な分離処理プロセスとして普及を図る。

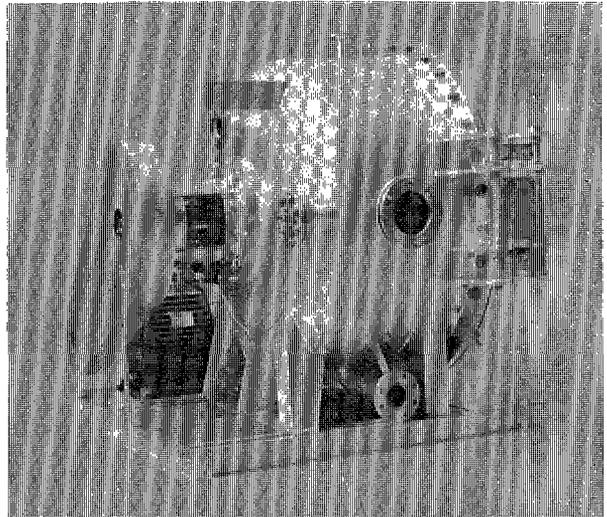
（'90.4.13 化学工業日報）

世界に通用する製品の提供—

中期計画「NEW SP 95」を実行

“New SP 95” for providing products of world wide level

神鋼パンテック（昨年10月に神鋼フアウダーから社名変更）は「基礎固めから新たな創造と展開」をめざし、中期計画「NEW SP 95」を策定、4月からスタートさせた。積極的な技術開発、生産体制の再構築など販売体制の強化に注力、業容拡大を図り、最終年度である95年3月期に売上高500億円をめざす。



UFくるくる
UF KURUKURU

同社は昨年8月、創立35周年を迎え、これを機に社名変更を行い「新生神鋼パンテック」として新たなスタートを切った。21世紀に向け「エクセレントカンパニー」への飛躍を目指し、その第一歩として95年3月期を最終年度とする中期計画「NEW SP 95」を策定、今年度（91年3月期）から実行に移した。

重点施策は

- ① 生産拠点の一本化による生産の向上
- ② 新製品・新技術の開発を進め業容拡大を図る。
- ③ これを支援する技術開発センターの建設
- ④ 株式の公開—の4点

生産体制では、本社工場（神戸市）の製造設備を播磨工場に移設、強化し生産性、品質向上をさらに追求できる体制を整える。昨年までにステンレス部門の集約化を行い、残っているガラスライニング部門なども91年秋までに移設を完了させる。

また業容拡大への対策として、既存事業の強化と90年代後半での主力製品を育成する。このため現有のキーテクノロジーの深耕、バイオ、新素材、分離・精製、メカトロを重点分野とした新製品、新技術開発を進める。さらに全社的な研究開発体制をより強固なものにするため技術開発センターの建設や、メンテナンスなどグループ展開力をつけ、株式の公開を果たす。

最終年度売り上げ目標は、500億円（うち新製品100億円）、経常利益率5%（25億円）。このほかに関係子会社（5社）で100億円を達成、グループ全体で600億円企業をめざす計画だ。また化工機事業部を中心に中国、韓国など環太平洋地域でのマーケティングにも本格的に乗り出し、世界に通用する製品、技術、サービスを構築する。

（'90.4.21 化学工業日報）

展 示 会 Exhibition

第2回ソウル国際化学プラント展 SICHEM '90 The 2nd Seoul Int'l Chemical Plant Exhibition '90

第2回ソウル国際化学プラント展(シケム'90)は、4月25日から29日までの5日間、韓国・ソウル市の韓国展示場(KOEX)で開催された。

この展示会は韓国化学工業会の主催により1988年の第1回に引き続き開催されたもので、韓国国内はもちろんのこと米国、欧州、そして日本のエンジニアリング会社、化学機器関連メーカーの参加により盛大に行われた。

当社は化工機事業部の主力製品を中心に出品をし、前回と同様にその高い技術力と幅広い製品メニューが注目を集め、連日多数の来場者を迎えることができた。

当社の出品物は次のとおり。

- WFE 薄膜蒸留装置 (2-03型による実演とビデオ上映)
- 高粘度液用薄膜蒸発機エクセバ
(パネル展示とビデオ上映)
- 円錐混合機SVミキサー
- 各種グラスチール製品

'90 国際食品工業展 The International Food Machinery Exhibition

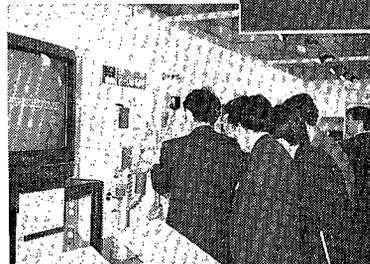
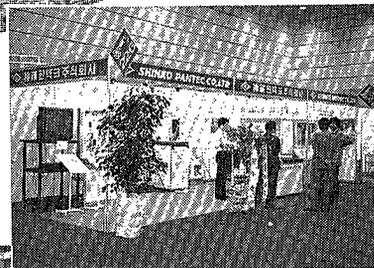
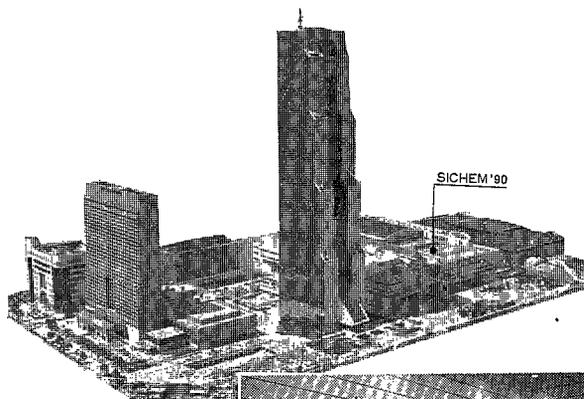
食品の製造・加工機械に関するわが国最大の総合展である「'90国際食品工業展」は5月15日から18日までの4日間、千葉市の幕張メッセ(日本コンベンションセンター)で開催された。

13回目となった今回は国内外から453社が出展、4日間で84,074名の来場者があり過去最大規模のものとなった。

当社はこの展示会には4回目の出展となったが、ユーザ製品の高機能化・多品種化、またプロセスの省力化などを反映して、当社の出品物の中でもとくに高粘性流体用熱交換機「フリサーム」特殊表面処理「ゴールドEP」に対する関心が高かった。

当社の出品物は次のとおり。

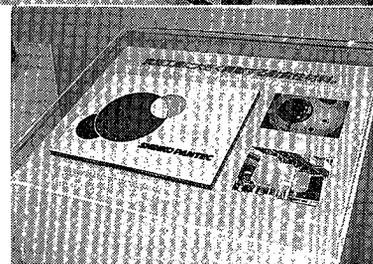
- 湿式破碎機「コロイド・ミル」
- 湿式微粒化機「コランダム・ミル」
- 真空乳化プラント「VME」
- 高粘性流体用熱交換機「フリサーム」
- 円錐型混合機「SVミキサー」
- 生酒用限外濾過装置「スーパーUF」
- グラスチール製品
- フッ素樹脂ライニング製品



当社小間
Shinko Pantec's
exhibition room



当社小間
Shinko Pantec's
exhibition room



グラスチール製の当社コミュニケーションロゴマーク
Glasslined new communication
logomark of Shinko Pantec